資料４－６②

第２２回世界スカウトジャンボリー　ブリテン第６号

（２０１１年４月１９日現在仮訳―作業中）

世界スカウト機構ルック・パニソード事務局長よりご挨拶

スカウトの皆さん、

４年前に開催された第２１回世界スカウトジャンボリーでは、３８，０００人ものスカウトがスカウト運動の１００周年の節目を祝うべくイギリスに集まりました。この大会では世界中の多種多様なスカウト運動を体験することができ、とても素晴らしい大会となりました。これから数ヶ月後には別の新たな若者たちが世界規模のスカウト運動を祝うべく集まり、一生に一度の体験をもつことになるでしょう。

世界スカウトジャンボリーは参加者がより良い世界を創るためのツールを得られる素晴らしい平和活動です。様々な国からスカウトを招待したり、飲食をともにしながら国際開発村でどうしたら結果を生み出せるかを考えたりする、このような特徴から世界スカウトジャンボリーは出会い、自己成長、そして楽しみのためのユニークな機会であると言えます。さらに、各国スカウト連盟にとっても連盟、あるいは各参加団体と大会終了後も続くようなつながりを作り、協力を図り、そしてパートナーシップへと発展させていくための場になります。

私個人としてもスウェーデンでの夏にはできるだけ多くの参加者と出会い、スカウト運動の最高のひとときに出くわすことをとても楽しみにしています。ともに第２２回世界スカウトジャンボリーを成功へと導きましょう！

ルック・パニソード
世界スカウト機構事務総長

ブリテン６　目次

派遣団チェックリスト
査証
タウンとサブキャンプの名前
備品と荷物
アダルトタウン“ Spring ”（春）
プログラム！
モジュール・アクティビティ
インターナショナル・フレンドシップ・アワード
キャンプ・イン・キャンプ
ジャンボリーでの式典
フラッグ・パレード
自由時間の活動
文化フェスティバルの日－追加情報
ジャンボリー・フォーラム
お小遣い
支払い方法と通貨
派遣団本部エリア－派遣団本部サービスセンター
派遣団本部―お忘れなく
ジャンボリー会場でのサービス
シンプリー持続可能性
交通についての最新情報
派遣団に連絡をとっている企業
見学者－お忘れなく
ラマダーン
参加者の食事
会場でのサポート
オペレーション・ワン・ワールド－追加情報
防火計画
登録と支払い
締切り
ジャンボリーオフィスの新しい電話番号
第 22 回世界スカウトジャンボリーまであと少し

派遣団チェックリスト

１．これまで

すでに各派遣団では派遣団全員のジャンボリー登録システムへの登録を済ませたことであろう。これにはすべての名前、参加者の所属する隊、そしてＩＳＴそれぞれの特技と配属希望に関する情報などが含まれる。また、登録費用についても支払いを済ませている。

まだ登録を済ませていない場合は下記のメールアドレスまで派遣団の構成人数、そしていつまでに登録し、支払いを済ませることができるのかを連絡をいただきたい。
contingent.support@worldscoutjamboree.se

２．派遣団員の準備

派遣団の準備が完全であるほど、ジャンボリーでの体験もよりよいものになる。ブリテン第５号では参加者、隊指導者、そしてＩＳＴメンバーへの準備に関するアドバイスが載っているので、それを参考に準備を進めてほしい。

また、派遣団員へ準備に必要な情報が確実に行き渡るようにしてもらいたい。この中には準備活動、携行品リスト、査証申請のための情報、派遣団の集合場所までの情報などが含まれる。

さらに、ジャンボリー期間中の派遣団本部の連絡先を把握している場合は、各派遣団員の保護者へこの情報が行き渡るようにしてもらいたい。

３．旅行日程―旅行日程とパスポート情報の登録

現段階で航空券の予約や旅行日程が確定していないようであれば、今がその準備を薦める時である。遅くとも２０１１年４月３０日までにジャンボリー登録システムにその詳細を登録するようにしていただきたい。これは、到着ポイントからジャンボリー会場への交通手段を確保するためにも必要な情報である。また、ＩＳＴメンバーは７月２５日に到着し８月８日に出発、参加者と参加隊指導者については７月２７日に到着し８月７日に出発することを注意していただきたい。もし、派遣団員がスウェーデンあるいはシェンゲン協定加盟国内に入国する際に査証が必要な場合、２０１１年４月３０日までに登録システムにパスポートに関する情報を登録するようにしていただきたい。詳細についてはこのブリテンの後半に記載されている。

４．保険

派遣団員全員が医療保険並びに損害保険にジャンボリー期間またその前後に旅行に行く場合はそれも含めた期間加入しているか確認をする。また、派遣団の備品についても保険をかける必要がある。ヨーロッパ圏から参加する場合は、すべての派遣団員がヨーロッパ健康保険カードを持参する必要がある。健康や保険についてのより詳しい情報はブリテン第２号の「第２２回世界スカウトジャンボリーの諸条件」を参照する。

５．派遣団のプログラムへの参加

ジャンボリーでアクティビティを実施することを検討している場合は、まずジャンボリー組織へ登録する必要がある。まだジャンボリー組織へ連絡をしていないようであれば、アクティビティの企画内容を下記のメールアドレスまで送ってもらいたい。

contingent.support@worldscoutjamboree.se

６．大会情報

ブリテンとサーキュラーは私たちが派遣団と連絡を取り合う最も基本的な手段となっているため、再度読み返してもらいたい。これは第６号にして最終号となるブリテンで、これまでに４つのサーキュラーが発刊されている。すべてのブリテンとサーキュラーは派遣団エクストラネットで見ることができる。

派遣団エクストラネットはブリテンやサーキュラーを補完するものである。刊行物の他にも派遣団長会議での情報も得ることができる。もしインターネットへのアクセスが無く、刊行物を読みたい場合は、ジャンボリーオフィスに連絡していただきたい。

また、派遣団エクストラネットへのログイン情報が無い、あるいは紛失した場合は下記のアドレスまで連絡してもらいたい。contingent.support@worldscoutjamboree.se

査証

ヨーロッパ経済圏以外で発行されたパスポートを持っている人は、世界スカウトジャンボリーに参加するためにスウェーデンに入国する際に査証が必要となることがある。そのため、各派遣団員の国籍とパスポートを必ず確認し、下記ホームページに掲載されている「List of foreign citizens who require visa for entry into Sweden（スウェーデン入国に伴い査証が必要となる国籍）」で確認する。ジャンボリーが始まる前から時間にゆとりをもって査証の申請を行う必要がある。
www.sweden.gov.se/visa

査証に関する重要事項

- 派遣団員を調査し、スウェーデンに入国する際に査証が必要となる者を探す。
- 査証申請が必要となる場合、**遅くとも 2011 年 4 月 30 日まで**に全員の情報を登録する。
- 査証申請が必要な派遣団員にジャンボリーオフィスより招待状が送られる。
- 査証申請にための大使館あるいは領事館を探す。
- 査証申請に必要な項目と締切りを確認する。
- まず、保護者の承認など特別な確認事項がある可能性がある 18 歳以下の派遣団員の査証申請を優先させる。
- なるべく早く査証申請の手続きを開始する。この際、いつから査証申請ができるのかを確認する。
- 「シェンゲン査証」を申請する。
- 申し込み窓口で必要な申請を済ませたことを確認する。
- 査証申請にサポートが必要な場合は、ジャンボリーオフィスへ連絡する。

最後に、スウェーデンへ入国する際にも必要な書類等を忘れように注意する。

査証申請に関するより詳しい情報は派遣団エクストラネットの Visa Application Guide（査証申請ガイド）でも確認できる。また、スウェーデン外務省のホームページも必要に応じて参照してもらいたい。
www.swedenabroad.com.

ジャンボリーオフィスでは質問や問題へのサポートをしている。質問や疑問は下記のアドレスまで。
contingent.support@worldscoutjamboree.se.

タウンとサブキャンプの名称

ブリテン第４号の中で参加者のための４つのタウンと成人向けの１つのタウンの計５つのタウンとなるとお伝えした。しかし、その後計画が修正され、参加者のためのタウンが３つ、そしてＩＳＴメンバーとその他の成人のためのタウンが１つの計４つのタウンで開催されることになった。

タウンにはそれぞれ四季の名前が付くことに決まった。スカンジナビア地方では季節の変化はとてもダイナミックで、これは各タウンに反映される。参加者と参加対指導者が生活する３つのタウンは「Summer（夏）」、「Autumn(秋)」、「Winter(冬)」、そしてＩＳＴメンバーとその他の成人が生活するタウンは「Spring(春)」となる。

Spring 以外のすべてのタウンは６つのサブキャンプに分かれており、全体で１８のサブキャンプより構成される。すべてのサブキャンプの名前についてもそれぞれのタウンの季節や地理的な要素も含めて関連している名称が使われている。サブキャンプとサブキャンプセンターではこのテーマが活動内容や食べ物や飲み物にも反映されるだろう。各隊の準備訓練では参加者がどのサブキャンプで生活するのかを知ることになる。各サブキャンプのより詳しい配置についてはジャンボリーが近づいてきたら発表される予定だ。

Summer(夏)内のサブキャンプ
- フィンネリョーデャ：大規模ないちごの栽培で有名な地域
- カールスタッド：いつも太陽が輝いている街
- スモーゲン：海の幸にあふれた小さな街
- ストックホルム：島の上に建てられたスウェーデンの首都
- ビンメルビ：有名な児童本の著者アストリッド・リンドグレーンの出生の地。夏の間、長くつ下のピッピや屋根の上のカールソンなど彼女の有名なキャラクター達に会うことができる。
- ビースビィ：ゴトランド島にある中世の街

Autumn（秋）内のサブキャンプ
- ボーウスラン:初秋の時期に好んで食べられるザリガニを釣れる地域
- フンネバーリ：スウェーデン最大のヴェーネルン湖に接した美しい国立公園
- シビーク：秋に開催されるりんご市場で有名な街

・　カーラバン：昔、木材の運搬に使われた川、現在はラフティングで有名
・　サレーク：初秋の鮮やかな色を楽しめるスウェーデン北部の国立公園
・　スベーダラ：スベーダラ付近では秋の間、ブナ林での散歩を楽しめる

Winter(冬)内のサブキャンプ
・　ユッカサービィ：アイスホテルで有名なスウェーデン北部の街
・　キルナ：スウェーデン最北端の街
・　モーラ：全長９０ｋｍという世界最長クラスのスキー大会の終着地点の街
・　ポルサーケン：これより北は１２月の間太陽が１日を通して上がらない日が１日ある
・　オーレ：アルペンスキーの世界大会が開催されたスウェーデンで最も長いスキーの歴史がある地域
・　エルンシェルツビク：世界で活躍するアイスホッケー選手で有名な街

備品と荷物

ジャンボリー会場での調理
サブキャンプ内での調理には、班支給品に含まれるガスコンロを利用して行われる。これに加えて裸火での調理が可能なかまども利用できる。これは隊の共有施設であるため、隊の中で各隊の調整を行う必要がある。また裸火での調理に必要な器具に関してはかまどキットとして各隊に一班分のみ支給される。ぜひ火を囲んで一同に会し、自国の料理を作ったり、お気に入りの一品を作ったりしてみてほしい。

隊ごとの調整によるが、ジャンボリー期間中各隊は２～４回程度裸火での食事の調理が可能だと思われる。またキャンプ・イン・キャンプの期間中はほとんどの隊が裸火での調理を行う。また、ガスと薪についてはすべての調理に対応できる量が供給されるが、調理以外の用途には十分な量ではない。かまどキットに含まれる支給品については、ブリテン第５号で記載されている隊支給品の項目に追加される。隊支給品のすべての備品は派遣団エクストラネットで確認でき、かまどキットについても早急に追加される予定だ。

パイオニアニング・ポール
パイオニアニングは多くの国のスカウト活動でとても重要な位置づけにある。スウェーデンスカウトではよくパイオニアニングでテーブルやベンチ、通路、かまどを作る。ジャンボリーでは参加者は所属する隊でポールを使った何かを作製する機会があるだろう。テーブルやベンチ、かまどは班支給品に含まれているが、隊のエリア内でぜひ通路を建設してみてほしい。派遣団には各参加者それぞれに一本パイオニアニング・ポールが支給される。

持ち物
最新版のジャンボリーへの持ち物リスト（リストはブリテン第５号に掲載）は派遣団エクストラネットですでに公開されている。派遣団エクストラネット内の“ Facts＆FAQs ”と“ Subcamp life ”を参照してほしい。

アダルトタウン“ Spring ”(春)

“ Spring ”(春) は１万人の成人スタッフのための広大なタウンである。ＩＳＴ、派遣団本部員、ジャンボリープラニングチーム、派遣団ゲストはここで寝泊りすることになる。各派遣団には、すべての成人スタッフに対応できるように４０人まで入れる区画が割り当てられ、これらの区画が交わり国際色豊かな Spring となるだろう。
“ Spring ”（春）への立ち入りは成人に限られる。隊指導者はいつでも“ Spring ”を訪問できるが、参加者はこのエリアに立ちることは許されない。（なお、ジャンボリープラニングチーム、派遣団本部員などの子どもが若干名“ Spring ”に滞在する予定である。）
また、Spring にはシャワー、食堂、インフォーメーションデスク、売店、カフェ、レクリエーションなどが用意される。

食べ物
“ Spring ”で生活する成人向けの食事は会場内で準備され、食堂で提供される。これには１日３食の温かい食事が含まれ、昼食と夕食には温かい食事が提供される。ベジタリアンや特別な配慮が必要な人への対応も行われる。
また夜間の業務に携わっているＩＳＴメンバーやラマダーンのため断食を行っているＩＳＴメンバーには夜間にも食事が提供される。

プログラム！

ジャンボリーではアリーナでのイベントを始め、あらかじめ決められたプログラムの他、自由時間の活動もある。これまでのブリテンでは概要のみの説明になったが、今回のブリテンでは予定されている参加者向けのプログラムが紹介されている。参加者向けの紹介になっているので、スカウトの準備にあたっている隊指導者にもぜひ活用してもらいたい。

モジュール・アクティビティ

私たちは、参加者たちが世界中から集まったスカウトたちと出会い、交流し、そして友情を育くむためのプログラムを計画している。モジュール・アクティビティではこの目的を達成するための５つの機会を提供する。ジャンボリー期間中参加者にはこの機会を活用し、我々と時間をともにしてもらいたい。

“ People ”（人々）に到着すると派遣団は熱狂的な IST メンバーによって出迎えられるだろう。これらの IST メンバーが世界中の文化を構成する様々な要素を探求･探検できる場を提供する。自分の文化グループを探求することを通して、あなた自身が何者で何を信じているのか、スカウトの兄弟たちと共通するものは何か､そして何があなたをひとりの個人として特別な存在としているのかを知ることができるだろう。隊ごとにそれぞれの文化を持ち込むこともできる。“ People ”の町はシアター、マーケット、通りや公園などで埋め尽くされ、音楽・笑い・喧騒・静けさを併せ持った街と化すだろう。それぞれのサブキャンプで“ People ”を訪れる時は、あなた自身と周りにいる人についての理解を深める機会としてぜひ活用してほしい。

“ Quest ”（探求）にいる世界の指導者たちは、あなたがたの到着を待ちわびているだろう。彼らは熱心に冒険心を刺激するようなチャレンジを準備してきた。開会の式典としてミュージックショーを正面の入り口で予定しているので、ぜひ時間厳守で来てもらいたい。入り口から「発見」、「中世」、「バイキング」そして「洞窟」の異なるタイムゾーンへと移動する。これらの異なる世界への冒険を通じて探究心を満たすと同時に様々なクエストチャレンジで他の隊と身体的に、そして知能的に競いあってもらいたい。“ Quest”は身体と脳を鍛えるエクササイズになるだろう。

“ Earth ”（地球）プログラムサイトのスタッフ達は、参加者たちが土の神秘や水が持つパワーを発見し、風が単なる空気の動きではないことへの気づきを得られることを期待している。“ Earth ”のモジュールを訪れる前に一度隊のなかで自分達の国が直面している環境問題はなにか、その問題に対してどのような解決策を促せるかを考えきてほしい。ここでの実験を通して、よりよい地球を目指すべく、私たちがスカウトに何ができるのかを見つけられることを期待している。

世界開発村（ＧＤＶ）に集い、世界中で行われているスカウト運動の体験を共有してほしいＧＤＶでは、世界スカウト機構の協力団体による様々なワークショップや展示が催される。ぜひ展示されているモデルから刺激をもらい、よりよい世界を創っていくために“ Think globally and act locally”（グローバルに考え、地域でアクションを起こすこと）を学んでほしい。

あなたは夜にしか夢を見ませんか？“ Dream ”（夢）はあなたのこれまでの人生にフォーカスを当てる、ジャンボリーで唯一、夜のアクティビティである。人生をとおした魔法のような旅に出て、違った冒険を発見してほしい。わたしたちが誰であろうと、何をしようと、そして何を信じようと夢は起こるのだ。

すべてのモジュール・アクティビティは各日ともに１０：００から始まり１５：００に終わる。ただし“ Dream ”だけは各日ともに２２：００から始まり深夜の２時に終了する。それぞれのモジュールに参加するために時間割に注意し、この機会にぜひすべてのモジュールを体験してもらいたい。

インターナショナル・フレンドシップ・アワード

チャレンジへの準備はできているか？世界中から集まった人々と出会い、新しい友だちを作り、そして誰もが欲しくてたまらないバッジ手にいれろ！

あなたは問題を解決するスキルと、他のスカウトたちと協力していく能力を持っているか？異なる文化や言語に関心があるか？自分のスカウト活動について分かっているか？これらのことをぜひ試みてほしい。

International Friendship Award はどの世界スカウトジャンボリーでも参加者のために行われるものであり、スカウト運動の基本的価値の多くを反映しているものである。第２２回世界スカウトジャンボリーで行われるインターナショナル・フレンドシップ・アワードは、ジャンボリー

会場でクイズや課題、そして文化間の交流にチャレンジするものである。参加者は必ず２カ国以上の国からのスカウトで構成される４～８人の班を作り、精神と体を使ったさまざまな課題に取り組む。これらの課題はジャンボリーについての知識を深め、開催国について知り、スカウト運動や異なる文化についての理解を深め、そして新しい仲間を作るために用意されたものである。課題には制限時間が設けられるのでスピードと協力がとても重要になる。これ以上に会場と参加者を知る機会があるだろうか？すべてのチャレンジのあとにはインターナショナル・フレンドシップ・バッジという褒賞が待っている。これは第２２回世界スカウトジャンボリーでの世界中のスカウトたちとの出会いの証である。これを獲得する過程で多くの友情を養ってもらいたい。

インターナショナル・フレンドシップ・アワードはタウンセンターから始まり、参加者にはすべてチャレンジを達成するために２４時間が与えられる。この時間を過ぎてしまうとバッジをもらうことはできないので、各自の協力が求められる。

キャンプ・イン・キャンプ

北欧のスカウトたちが世界スカウトジャンボリーの参加者をキャンプ・イン・キャンプというユニークなキャンプ体験へと招待する。スウェーデン南部の美しい自然のなかで小規模なスカウトキャンプを体験する機会だ。キャンプ・イン・キャンプの会場はメイン会場からバスでおおよそ２時間以内のキャンプサイトで行われる。それぞれの隊は最低４つの他の隊とともに昼からの一晩を過ごすことになる。この際、すべての隊は隊指導者の引率が必要になる。

スウェーデン全体、そしてデンマーク、ノルウェー、フィンランドからの一部のスカウトで年に一度のサマーキャンプがリンカビィ（Rinkaby）を囲んだエリアで開催された。彼らは１年以上前からあなたたちを迎えるための準備を進めており、あなた達に会うのをとても楽しみにしている。

それぞれのキャンプ・イン・キャンプは異なる北欧のホストグループが主催するため、まったく異なるものになっている。あなたたちの多くは湖でカヌーや水泳に挑戦したり、薪を準備し裸火での調理をしたり、新しいゲームで遊んだり、そして最も重要な新しい友だちとの出会いがあるだろう。夜には素晴らしいキャンプファイヤーを用意しているので、各隊にはぜひ何かパフォーマンスを準備してもらいたい。

キャンプ・イン・キャンプは７月３１日から８月３日にかけて行われ、それぞれ隊はこの中で１泊割り当てられる予定だ。キャンプ・イン・キャンプについてのより詳しい情報は、キャンプ・イン・キャンプに出発する前に隊長会議でそれぞれの隊指導者に伝えられる。

キャンプ・イン・キャンプへの持ち物

- １日分の衣類
- 温かいジャケットやセーター、レインウェア
- 水着
- 食器類
- 個人備品

・　寝袋
・　就寝用マット（キャンプ用ベッドや大きなマットレスの持ち込みは避けるように。）

これらの装備については１泊分に適した小さめのバッグに詰めるようにしてもらいたい。テントはキャンプ・イン・キャンプのホストによって提供されるので準備する必要はない。

キャンプ・イン・キャンプでの食料
それぞれの隊は、ジャンボリー会場から自分たちで食料をキャンプ・イン・キャンプに持ち込む必要がある。炊事場道具についてはホストで班支給品にある道具を用意する予定である。もし、ジャンボリーの為に特別な道具を準備したり、注文した場合は持ち込んでも構わない。キャンプ・イン・キャンプについて何か質問がある場合は、ジャンボリーオフィスまで遠慮なく連絡してもらいたい。

ジャンボリーでの式典

第２２回世界スカウトジャンボリーの開催期間中、３８，０００人のすべての参加者がメインアリーナ前に集うイベントが３回ある。それらのイベントは３つの重要な概念である「出会い」、「自然」、「連帯感」からヒントをもらったものだ。この他にもすべての人が参加できる特別なライトハウスの集い、勤勉なＩＳＴメンバーのためのオープニングとクロージングのショーがある。

IST オープニングショー（7月２６日）
私たちは第２２回世界スカウトジャンボリーとＩＳＴとしての経験を IST によるオープニングショーでスタートさせる。これはこの日のハイライトであり、ＩＳＴメンバーの為に捧げられる。ＩＳＴによるイントロダクション・プログラムに始まり、オープンニングショーへと続き、“ Spring ”でのジャンボリーパーティーで１日が終わる。

開会式（7月２８日）－出会い
音楽、パフォーマンス、そしてレクリエーションを通してあなたは世界と出会い、スウェーデンを知ることになる。色とりどりのるフラッグ･パレードや WOSM 旗の旗上げの楽しんでほしい。３８,０００人のスカウトと踊るジャンボリーダンスの練習を忘れないようにしてもらいたい。

ライトハウス・セレブレーション（7月３０日）
世界中から来たスカウトたちがライトハウス･セレブレーションに参加する。ライトハウスイベントのテーマである“ 灯火になろう！共通の信念のもとに ”のもと、ビデオの上映会や世界中のあらゆる宗派からなるスカウトグループの共演、音楽、そしてすべてのスカウトへ向けたメッセージなどがある。スカウトや隊指導者たちが参加したいイベントになっている。

中間イベント（8月４日）－自然
このショーはあなたたちをアーティストとパフォーマンスを交えたスウェーデンの美しい自然をめぐるツアーへといざなう。また、これは文化フェスティバルの日のフィナーレであり、キャンプ・イン・キャンプのホストグループがジャンボリー会場を訪れる日でもある。

閉会式（８月６日）ー連帯感
大会最終日に行われる最後のショーこれは世界中の友情と連帯感に捧げるものである。そしてこの場で、トーチを第２３回世界スカウトジャンボリーのホスト国である日本へと手渡すことになる。ジャンボリーでの素晴らしい体験を思い出しながら、偉大なアーティストがあなたたちを楽しませるだろう。ディスコの音楽が会場を満たし、残ったことは踊るだけだ！

ＩＳＴクロージングショー（８月７日）
ＩＳＴのクロージングショーとともに、別れの時を迎える。ジャンボリー組織がＩＳＴのメンバーたちに彼らが成し遂げた仕事にお礼を言う時である。もちろん、クロージングショーのあとにはクロージングパーティーが催される。

フラッグ・パレード

開会式の間、メインステージでは国旗が掲揚される。各国スカウト連盟には制服のスカウト一名を旗手に任命してもらいたい。リハーサルが開会式の朝に行われる。なお、国旗はジャンボリー組織で用意する。詳しい時間などの情報については後日連絡する予定である。

もしこのイベントについて何か質問がある場合は、下記まで連絡してもらいたい。
contingent.support@worldscoutjamboree.se

自由時間の活動

スケジュールに組み込まれたプログラム以外にもジャンボリー会場ではたくさんの自由時間の活動が行われている。これらの活動はすべての人が参加でき、時間があればどなたでも参加できる。予約などは必要なく、余裕があればぜひ参加してもらいたい。

メインスクエア
メインスクエアでは私たちは様々なアクティビティを用意している。出会い、自然、連帯の３つのコンセプトに基づいたアクティビティはもちろんアドベンチャーも体験できる。たとえば、クライミング、伝統的スカウト体験（MPSE）、体感シネマ、スポーツアクティビティ、チボリ（遊園地）、ワッペンの交換、スカウトミュージアム、ラジオスカウティングなど盛りだくさんである。

すべてのアクティビティは参加者の他にもＩＳＴメンバーやビジターも参加できるが、一部のアクティビティでは参加者が優先される。開催時間は原則として１０時から２０時となっているが、クラフトビレッジは１５時から始まり、いくつかのアクティビティは２２時まで開かれるなどの例外もある。

チボリエリアについてはメインアリーナの近くで開催される。ここでは、観覧車やメリーゴーランドを楽しむこができるほか、タワー・オブ・ヘイというケーブルを装着した状態で登り降りをして遊べるアトラクションもある。

タウンセンター
タウンセンターではいつでも誰もが参加できるアクティビティが用意されている。１分間チャレンジに挑戦したり、新しい友達とゲームをしたり、ジャグリングのスキルを磨いてみんなを驚かそう！もちろんこれ以外にも家に持ち帰るために自分のデザインで何かを座りながら作製したり、共有プロジェクトに貢献したりすることもできる。

タウンセンターではサブキャンプごとの“季節”をデザインからだけでなく、様々なアクティビティを通して体験することができる。“Winter”（冬）では雪と氷を、“Summer”（夏）では太陽と水を、“Autumn”（秋）では凛々しさと色をぜひ体験してもらいたい。いくつかのアクティビティはすべてのタウンセンターで実施されるが、すべてのアクティビティを体験するためにはぜひ３つすべてのタウンを回ってみてほしい。

いくつかのアクティビティは一日中（１０時～２２時）開催されるが、多くの場合は午後からのスタートで日暮れと共に閉まってしまうので注意してもらいたい。

サブキャンプセンター
サブキャンプセンターでは数多くの小規模なアクティビティを用意している。参加者は好きなボードゲームを選んだり、スポーツ用品を借りたり、あるいはまったく新しい技術を身につけることもできる。

また、各参加者もアクティビティへ貢献することができる。もし他の参加者達にも体験してもらいたいアクティビティがあればぜひサブキャンプセンターのスタッフまで声をかけてもらい、そのアクティビティを追加することもできる。

サブキャンプセンターのステージでは、歌手によるパフォーマンスやミュージッククイズなども行われるので、ぜひ足を運んで、参加してもらいたい。隊と団などでパフォーマンスをするというのはどうだろうか？その場合は、サブキャンプセンターでステージの予約をすれば、独自のアクティビティやパフォーマンスを披露できる。

さらに、サブキャンプセンターでは隊指導者向けのアクティビティも用意している。

文化フェスティバルの日ー追加情報

文化フェスティバルの日（８月４日）はみなさんの文化を紹介し他の参加者と共有しあう機会となる。今頃みなさんはこの日のための準備に忙しいことだろう。

１日の概要
朝、参加者たちには食事を準備し、アクティビティやパフォーマンスの準備をする時間が与えられる。お昼ごろにはキャンプ・イン・キャンプのホストたちもジャンボリー会場に到着し、いよいよ文化フェスティバルの日が始まる。

みなさんが文化フェスティバルの日に貢献する方法はたくさんある。たとえば、音楽を演奏したり、ダンスを踊ったり、自国特有の簡単な料理やお菓子などを用意するなど方法は様々である。これらの活動はタウンセンターやサブキャンプセンター、ステージだけでなく、あらゆるオープンスペースで実施される。タウンセンターやメインアリーナの普通のアクティビティや展示の他、信仰奨励エリアもこの日も用意されているので様々なアクティビティに参加することができる。ジャンボリー会場全体がさまざまな色、音、熱気をうちに含んだ文化のるつぼと化すだろう。

夕食の休憩を置いたあと、私たちはサブキャンプセンターとタウンセンターに集まり、メインアリーナへと続くパレードに参加する。パレードでは音楽を奏でたり、衣装をまとったり、歌い笑いあいながらみなさんで場を盛り上げる。

ステージ
この日、ステージを借りたい場合は予約したうえで利用することができる。会場ではさまざまなサイズのステージが用意されている。自分たちの意図にあったステージを予約したい場合は、会場に到着したあとなるべく早くに相談に来てもらいたい。ステージには音響設備もあり、技術的な問題について相談できるステージホストもいる。

食べ物
文化フェスティバルの日に貢献する方法のひとつは自国特有の簡単な料理やスナックを持ち寄り、他の参加者たちに振舞うことである。そのためには、派遣団で材料を持参するか、他の手段で材料を手配する必要がある。ジャンボリー組織を通して派遣団が注文・支払いができる材料には限りがあるため、派遣団エクストラネットで価格や注文方法を確認してもらいたい。
材料の注文は５月３１日までに済ませてもらい、これ以降の注文についてはジャンボリー組織では対応できなくなるため注意してもらいたい。注文された材料ついては派遣団本部に届けられるので、そこから各隊・班などに分配して欲しい。

注文できるリストに必要な材料がない場合は自分たちで準備し、ジャンボリーへ持ち込むことになる。この場合、事前にスウェーデンの税関の食べ物に関する規則を確認し、よい衛生状態を保つように注意してもらいたい。

ジャンボリーフォーラム

世界スカウトジャンボリーは異なる背景を持つ若者が集い、アイデアを交換し合うことができるユニークな機会である。スカウト活動の重要な要素のひとつは、どうすれば社会に良い影響をあたえられるのか、そしてそのための弁論を学ぶことである。

ジャンボリーフォーラムでは参加者たちにはさまざまなトピックについてモデレートされた手法を用いて議論をする機会がある。トピックは現代の若者にとって関わりの多い社会や環境問題や民主主義に関するものなどがある。我々は今各国スカウト連盟からのトピックの提案や、このフォーラムでゲストスピーカーとして講演していただける方を募集している。このフォーラムに関する詳細やトピックについては派遣団エクストラネットで確認してほしい。また、ゲストスピーカーを紹介してもらえる場合は下のメールアドレスまで連絡をお願いしたい。

contingent.support@worldscoutjamboree.se.

お小遣い

ジャンボリー会場では多くのお店やカフェなどがある。**キオスク**などスナックや夏の暑さを紛らわすアイスクリームや冷たい飲み物がある小さなお店の他、**カフェ**など座って話をしながらコーヒーやスイーツを食べられるお店もある。これ以外にもキオスクより品揃えが豊富で歯ブラシや石鹸、シャンプーなどを販売しているお店もある。

それぞれタウンセンターにある**食堂**では、温かい食事をお昼に食べることができ、それ以外の時間であっても飲み物（温かいもの、冷たい物両方）、アイスクリームと軽食が提供される。

キオスク、食堂、カフェ以外でも各派遣団より提供される**フードハウス**もある。ここでは各国の特産品を味わいながらその国についての理解を深めてもらいたい。

これに加えておみやげからワッペン、そしてシャツやアウトドア用品まで購入できる**ジャンボリーショップ**もある。このショップはジャンボリー会場の中心であるメインスクエアに設置される。

支払い方法と通貨

支払い方法

ジャンボリーでの現金の使用を最低限に抑えるために、参加者のみなさんにはクレジットカード、デビットカード、あるいはキャッシュカードを利用することを奨励したい。このために、派遣団員（参加者、参加隊指導者、ＩＳＴとＣＭＴのメンバー）にはキャッシュカードの機能があるＩＤカードが配布される。このカードには現金をチャージすることができ、ジャンボリー会場内のカフェやお店の支払いに利用することができる。ＩＤカードのキャッシュカード機能はオプションとなり、クレジットカードまたはデビットカードを持っている場合はそれらを利用してもらいたい。以下が利用できるカードの一覧である。現金（ＳＥＫ、スウェーデンクローネ）も利用することができるが、ＩＤカード等による支払いはより安全であると考えられる。

- VISA
- Visa Electron
- Master Card
- Maestro
- JCB
- American Express

ＩＤカードでの支払いはや会場での支払いに関してのより詳しい情報は派遣団エクストラネットを参照してもらいたい。

通貨
ジャンボリー会場では銀行が設置される。そこでは両替ができるほか、ＡＴＭからの引き出しができるようになっている。なお、ジャンボリー会場で利用できる通貨はスウェーデンクローネ（ＳＥＫ）のみとなっている。

下記のリストにある通貨について、ジャンボリー会場で両替ができる。
GBP　British pound（英ポンド）
USD　US dollar（米ドル）
CHF　Swiss franc（スイス・フラン）
DKK　Danish krona（デンマーク・クローネ）
NOK　Norwegian krona（ノルウェー・クローネ）
CAD　Canadian dollar（カナダ・ドル）
JPY　Japanese yen（日本円）
EUR　Euro（ユーロ）
AUD　Australian Dollar（オーストラリア・ドル）
CNY　Chinese yuan（中国元、百元札のみ）
PLN　Polish Zloty（ポーランド・ズウォティ）
THB　Thai baht （タイ・バーツ）
CZK　Czech krona（チェコ・クローネ）
HRK　Croatian krona（クロアチア・クローネ）

ジャンボリー会場では下記の通貨を販売している。
SEK　Swedish krona（スウェーデン・クローネ）
USD　US dollars（米ドル）
EUR　Euro（ユーロ）

派遣団本部エリア―派遣団本部サービスセンター

派遣団本部と展示エリアにはインフォーメーションセンターと派遣団本部サービスセンターがある。派遣団本部サービスセンターはインフォーメーションデスク、オフィス、ラウンジの３つの部署に分かれている。

インフォーメーションデスクは派遣団本部の日々の活動の中で連絡窓口となる。なにか質問などがある場合ここに立ち寄ってもらえれば私たちは解決するためにベストを尽くす。インフォーメーションデスクではこの他にも派遣団郵便受けが設けられており、毎日開かれる派遣団長会議の議事録などの情報を配布するのに利用される。また、派遣団から派遣団への情報やメッセージのやりとりにも利用できる。そのためインフォーメーションデスクには最低でも一日数回程度訪れるようにしてもらいたい。

オフィスは派遣団本部員が仕事をするためのスペースとなっている。インターネットが完備されたパソコン（一般的な事務ソフト、カードリーダー、CD／DVD 作成機能）の他、プリンタ、

コピー機、ファックスなどが用意されている。自身でパソコンを用意される方は Wi-Fi を利用してインターネットにアクセスすることができる。また会議のための Wi-Fi とホワイトボードの設備も用意されている。

ラウンジは日々の忙しさを一旦忘れ、少しの時間休息をとるためのスペースとなっている。リラックスできるくつろげる環境で新聞に目を通したり、誰かとボードゲームに挑戦したり、漫画を読んだり、他の世界中の国々から集まった派遣団本部員と話したりするなど思うように過ごしてほしい。

派遣団本部-注意

２０１０年９月３０日までに派遣団本部用のテントオーダーを提出しなかった派遣団には９平方メートルのスペースが与えられる。この件についての情報はサーキュラー第３号に掲載されている。まだ注文の確認が届いていないなど確認したいことがある場合は下記まで連絡をしてもらいたい。
contingent.support@worldscoutjamboree.se.

ジャンボリー会場でのサービス

薬局
ジャンボリー会場の中心にあるメインスクエアには薬局が設置される。ジャンボリー期間中は毎日日中利用することができる。薬局ではセルフケア用品をはじめ、処方箋薬の販売を行う。処方箋が必要なものを購入したい場合はまずメディカル・センターに立ち寄る必要がある。

郵便局
ジャンボリー会場では小包、手紙、ポストカードの受け取り・発送ができる郵便局がある。ここでは、スウェーデンや国外へ発送するためのポストカードや切手、封筒、箱を購入することもできる。

ジャンボリー会場への郵送物をどのように処理するかについては現在最終調整を行っており、ジャンボリー開催が近づくころには会場へ郵便物を発送する際の住所などをお知らせしていく予定だ。ジャンボリー終了後に到着する郵便物については配送されないので注意してもらいたい。

インターネット
各タウンセンターではコンピュータが設置されたテントが用意されている。自分のパソコンを持ち込むこともでき、この場合インターネットへは公共 Wi-Fi あるいは LAN ケーブルを利用して接続することができる。タウンセンターの他、ジャンボリー会場のその他の一部の場所であっても公共 Wi-Fi を利用することができる。

銀行
ジャンボリー会場のメインスクエアには銀行が設置される。詳細については前述の「通貨」を確

認してほしい。

充電設備
電化製品を充電するための有料の設備が設けられる予定であるが､安全と環境への問題を考慮し参加者にはあまり多くの電化製品を持ち込まないようにお願いしたい。
サービスに関する追加情報については派遣団エクストラネットを通してお知らせする。

シンプリー持続可能性

気候変動、地球温暖化、CO_2の排出、温室効果、これから先環境への影響がどれほどのものになるかを正確に知っている人はだれもいません。しかし、地球を未来も持続的に住むことができる健康的な状態にするためには皆が貢献をする必要がある。スカウトとして、我々はこれを達成するために、今ここからスタートしたい！

グリーン・ジャンボリー
第２２回世界スカウトジャンボリーは最初のエコ・ジャンボリーであり、今後も続いていくことを期待している。これは、ジャンボリーが消費する天然資源を最小限に抑える方法を取り入れ、環境に関する要件をジャンボリーが満たしているためである。例を挙げると、ジャンボリーで使用されるすべてのコーヒー、バナナ、そしてココアにはエコ・ラベルが貼られる。ジャンボリーにおける持続可能性への取り組みや賞の詳細については下記のホームページ､または派遣団エクストラネットで確認することができる。
www.worldscoutjamboree.se

３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）
スカウト活動はよりよい世界作るためにある｡ジャンボリーは自然環境への影響が予想されるが､ごく簡単な方法で気候への配慮をすることで､あなたの派遣団はジャンボリーをより持続可能なものにするために貢献することができる。簡単に言えば、３つのＲ（リデュース・リユース・リサイクル）を実行して欲しいのだ。それだけである。下のリストは各派遣団が取り組めることの一例である。

リデュース（Reduce, 減らす）
- 環境への負荷をジャンボリー会場へと帰りの移動手段を見直すことで減らす。出来る限りバスや電車で移動し、不要な遠出は避ける。
- エコ･ラベルが貼られた商品あるいは地域で生産された商品を使うことで長い距離を移動して仕入れた商品の取り扱いを避けることで環境の汚染を減らす。
- ポリ袋の数を減らす。買い物に行く際には自分で袋を持参する。
- 食材のゴミを減らす。食事の計画は念密に行い、ゴミを最低限に抑え、保存可能な残りについては保管し、捨てるのは避ける。メニューブックを参照し（派遣団エクストラネットで公開されている)、提案があれば連絡してもらいたい。
- 水道を流しっぱなしにせず、使わないときは水道を止める。食事の準備や歯を磨く際には、バケットやカップに水をいれる。

リユース（Reuse, 再利用）

・　ペットボトルは捨てずにもう一度水をいれて使う。スウェーデンの水道水は飲用可能である。
・　カフェ、フードハウス、“ Spring”（春）の食堂には自分のカップを持ち込む。

リサイクル（Recycle）

・　空き缶、ペットボトル、包装などのごみは、ジャンボリー会場内にあるリサイクルステーションでリサイクルする。

グリーン・ジャンボリーのためのリサイクル

世界スカウトジャンボリーが環境へ与える影響を最小限に抑えるために、我々はゴミの扱いに注意している。そのためには、それぞれがゴミを分別し、正しいゴミ箱へ捨てなければならない。我々に協力し、環境に貢献してくれることに感謝する。
再利用することは地球の資源の保全につながる。食べ物の残りはバイオガスへと精製され自動車、バスの燃料として利用されるほか、農業用の肥料としても利用される。古い新聞は新しい新聞の一部となり、シャンプーのボトルはブラシへと生まれ変わる。さらに、リサイクルを通した新しい製品づくりは、木材や鉄鉱石から作るより使うエネルギーが少なくて済む。

隊エリアでのゴミの分別

食事を作るとき、容器はすべて保管する。すべての皿を洗い終えたら、使った水は汚い容器を洗うために使う。容器を綺麗したら指定されたゴミ箱に捨てる。食材の切れ端や食事の残りは紙袋に入れ、食材用のリサイクルゴミ箱に入れる。スーパーマーケットに行く時は一緒にゴミ箱を持参し、リサイクルステーションで空にする。

ジャンボリー会場の共有部分でのゴミの分別

お店やカフェでは、包装素材などそこで売られている商品のためのリサイクルゴミ箱が設置される。できるかぎり分別への協力をお願いしたい。通り沿いにはだいたいのゴミの種類を網羅したゴミ箱が設置される。あまり汚れていない容器は分別する。また、会場内ではリサイクルできないゴミのためのゴミ箱も設置されるので、合わせて利用してもらいたい。

交通についての最新情報

到着

参加者入場日である７月２７日には公式の到着ポイントに到着するとチームが待っており、派遣団をジャンボリー会場の受付までサポートしてくれる。

公式入場ポイントの一覧

・　ジャンボリー会場（リンカビィ飛行場にあるチェックインセンター）
・　コペンハーゲン国際空港（ＣＰＨ、デンマーク）
・　マルメ空港（ＭＭＸ）
・　クリスチャンスタード駅
・　クリスチャンスタード空港（ＫＩＤ）
・　オーハス港

上記の到着ポイントに入っている空港は７月２７日に空港に到着する派遣団を指し、バスなどで到着する派遣団はそのままジャンボリー会場へ直接向かう。

すべての参加者はジャンボリー登録システムで事前に旅行するグループ単位で登録をする必要がある。我々はこの情報をもとにして、到着ポイントからジャンボリー会場への移動と、ジャンボリー会場でのチェックインに活用する。

空港に到着後、そのグループのリーダーは到着チームと手荷物受け取り場所で連絡をとり、ジャンボリー会場への輸送についての情報を得る。

ジャンボリー前にホームステイに参加した人へはホームステイ先から到着ポイントまでの輸送が手配される。バスでの移動は到着ポイントからだけでなく、ジャンボリー会場の駐車場からも利用できる。参加者と参加隊指導者をジャンボリー会場近くのリンカビィ飛行場にある受付まで移動する。より詳しいチェックインの手続きやトラベルグループのリーダーの責任についてはジャンボリーが近づいた段階で配布する。
チェックイン手続きに続き、輸送バスが受け付けから世界スカウトジャンボリーの会場まで輸送を行う。
ジャンボリー会場に到着後、グループはそれぞれのサブキキャンプへと案内される、この移動で１．５ｋｍほど歩くことになる場合があるので、手荷物はきちんとしたバッグに入れるようにお願いしたい。
ＩＳＴの到着日（７月２５日）についても到着ポイントで歓迎チームが待っており、参加者と参加隊指導者の場合と同じような方法で輸送を行う。

出発
ジャンボリー終了後、ジャンボリー会場から出発ポイント（到着ポイントと同じ）、あるいはホームステイ先への輸送が利用出来る。参加者の出発日は８月７日、ＩＳＴメンバーは８月８日となっている。
派遣団は出発の詳細をジャンボリー会場で派遣サポート部と確認しなければならない。輸送チームでフライトの時間、時間、道路の混雑状況などを考慮したうえで、ジャンボリー会場からの出発時間を調整する。
なお、ジャンボリー会場から出発ポイントへの輸送費用はジャンボリー参加費用に含まれる。

スカウトナイフ
最も近い国際空港がコペンハーゲンにあるため、多くの参加者はデンマークを経由して移動するだろう。デンマークの法律ではいかなる理由にも関わらず観光や旅行中にナイフを携帯することは禁じられている。ナイフは航空機内に持ち込む手荷物に保管することも許されないので、ナイフは預ける荷物に保管してほしい。

スウェーデンへの食べ物の持ち込むに関する規則
ＥＵ加盟国以外から食べ物を持ち込むことへの規則はとても厳しい。何かを持ち込むことを検討している場合は事前によく調べてほしい。仮に、没収となった場合、ジャンボリー組織で補充することはできない。

ジャンボリー期間中のシャトルサービス
ジャンボリー期間中、すべてのＩＳＴメンバーと派遣団本部員にはジャンボリー会場とクリスチャンススタード間のシャトルサービスが提供される。参加者と参加指導者については利用できない。
派遣団員の誰かが地域の病院に入院し、当該病院に行くために輸送が必要になった場合、その人が所属する派遣団本部と参加隊指導者には輸送が提供される。
また、身体の不自由な方へは場内の輸送が提供される。そのため、世界スカウジャンボリーが開催される前にジャンボリー登録システムを通して要件を提示してもらいたい。

物品
派遣団は荷物を会場に事前送付する場合、輸送される物品の詳細について事前連絡をお願いしたい。派遣団エクストラネット内にある“物資運搬申込書（Goods Transport Form）”に書き込み、下記のメールアドレスに遅くとも物品が到着する２週間前までに送ってもらいたい。これは“事前物資運搬申込書（Preliminary Goods Transport Form）”に追加されるものである。

輸送に関するより詳しい情報はブリテン第５号で確認してほしい。

派遣団へ連絡をとっている企業

企業がジャンボリーと提携しているとしてサービスの提供を派遣団に申し出るといった事例が報告されている。企業からそのような申し出があった場合、またその情報が正しいのかわからない場合は、下記のアドレスまで連絡してもらいたい。
contingent.support@worldscoutjamboree.se

見学者－再掲示

これはブリテン第４号に掲載されているビジターについての情報のサマリーである。

１日見学
第２２回世界スカウトジャンボリーは、７月２８日（木）から８月６日（土）の期間見学者へ開放される（ただし、８月４日（木）を除く）。
見学者は１０：００～１８：００（最終入場１６：００まで）の間、ジャンボリー会場の共有エリアへ入場でき、ガイドツアーも行われる。詳細については、下記のホームページで確認してほしい。
www.worldscoutjamboree.se/visitors

成人向け１日チケットは１５０ＳＥＫ、子供向け１日チケット（７～１７歳対象）は７５ＳＥＫとなっており、いずれもジャンボリーウェッブショップで購入できる。
www.worldscoutjamboree.se/shop

派遣団ゲスト
各派遣団は一定人数の連盟役員などを最大で３日間ゲストとしてジャンボリーへ招待することができる。派遣団ゲストは派遣団本部員と同様の滞在形態となるため、テントを持ち込むなどの準備が必要となる。派遣団ゲストが会場に到着後まず会場南東にある受付でチェックインをする。

各派遣団はすべての派遣団ゲストを遅くとも２０１１年５月１日までに登録システムに登録する必要がある。また費用については一人当たり一晩８００ＳＥＫである。

特別ゲスト
すべての参加国はそれぞれの国の著名な方とジャンボリーの経験を共有する機会が与えられる。たとえば、国家元首、政府要人、国会議員、大使、あるいは文化・教育・経済分野の著名な個人などが特別ゲストにあたる。

特別ゲストプログラムに含まれるゲストについては事前にジャンボリーエグゼクティブチームより招待される必要がある。また、派遣団は特別ゲストを推薦することができる。ブリテン第４号添付資料ＩＶにある“特別ゲスト推薦書（Nomination of Special Guest Form）”を記入し、２０１１年５月１日までに返送してもらいたい。

ここで推薦されたゲストすべてが特別ゲストプログラムに参加できるというわけではないため、推薦したゲストに直接連絡をとることは避けていただくようお願いする。すべての手配については関係国の派遣団とともに調整する。

レセプション
ジャンボリー期間中、各派遣団はレセプションを開催することができる。ジャンボリー会場中心にレセプションエリアが設けられており、テント内あるいは屋外で行うことができる。レセプションエリアはジャンボリー開催期間中毎日利用することができるが、入退場日の１５：００～１８：００はレセプションを開催できる日は限られているため、開催を希望する場合は、複数の派遣団で開催することを奨励する。

我々はケータリング業者と協力し、レセプション用のさまざまな食事を提供する予定である。レセプションで提供される食事についてはヨーロッパの食品衛生基準に基づき保存、調理、提供されなければならない。そのため、派遣団にはレセプションエリアチームと十分な調整を行い、食材については現地で調達するように強く薦める。メニューと価格については派遣団エクストラネットで確認できるほか、リクエストすることもできる。
また、ジャンボリー会場でのアルコールの提供は禁じられており、レセプションも例外ではないことをあらためてお伝えしたい。

レセプションの実施を計画している場合は、ブリテン第４号の添付資料Ｖにある“派遣団レセプション申請書（Application for Contingent Reception Form）”を記入し、２０１１年４月１日までに返送してほしい。
派遣団ゲストについてのより詳しい情報を希望する場合は下記のメールアドレスまでメールしてほしい。
contingent.support@worldscoutjamboree.se

ラマダーン

我々はジャンボリー期間中にラマダーンが始まることを認識しており、多くのイスラム教徒のスカウトたちがイスラム教徒にとって重要な時間を世界中から集まったスカウト達と共有できることを望んでいる。すべてのスカウト達がジャンボリーを体験しつつ、それぞれの宗教的な慣習を守れるように準備を進めている。もしこの点について質問や提案があればぜひ連絡をしてほしい。

参加者の食事

ブリテン第５号の中で参加者のジャンボリーでの食事について情報を掲載した。参加者の準備を進め、彼らがジャンボリーで良い食生活で過ごすために、派遣団エクストラネットで掲載されているメニューブックを確認してほしい。

会場でのサポート

誰もが安全にジャンボリーを体験することはとても重要である。そのため、ジャンボリー会場では何か問題が発生した際に対応できる手段が準備されている。ブリテン第４号の中でジャンボリー会場内の医療設備についての詳しい情報を確認できる。サブキャンプでは相談所（Listening Ears）が設けられている他、信仰奨励エリアでは宗教に関する話を聞いたりできるようになっている。またジャンボリー会場内ではスチュワード（警備を担当するチーム）が巡回しており、道案内や安全に関する質問や支援が必要な場合は声をかけてほしい。

ブリテン第５号では、セーフ・フロム・ハーム（児童保護）についての情報が掲載されている。すべてのＩＳＴメンバーはジャンボリー開催前にオンラインコース（下記参照）を受講しなければならない。なお、このコースは５つの言語（英語、フランス語、スペイン語、アラビア語、ロシア語）で提供されている。
www.worldscoutjamboree.se/safefromharm
派遣団のすべての成人がコースを受けることが望ましい。

オペレーション・ワン・ワールドー追加情報

オペレーション・ワン・ワールドのための資金調達は順調に進んでおり、我々はこれからも引き続き努力していく。もし派遣団がどのようにオペレーション・ワン・ワールドを通してサポートを受けるのかについて疑問がある場合は、地域事務局に問い合せてほしい。

もし貴国スカウト連盟が他国のスカウトのジャンボリーへの参加を資金面で支援する場合は我々に連絡をしてほしい。この情報は我々が正しい登録状況の把握と、世界的な連帯と協力を知

る手助けになる。

我々は派遣団あるいは個人からオペレーション・ワン・ワールドへの募金を歓迎する。派遣団へ登録する際に募金をしていない場合は、下記のジャンボリーウェブショップで直接募金する方法が簡単である。
www.worldscoutjamboree.se/shop
もし情報が必要な場合はジャンボリーホームページで確認してほしい。

防火計画

第２２回世界スカウトジャンボリーの防火計画は派遣団エクストラネットで確認することができる。防火計画のなかでは事故を未然に防ぐ方法や、緊急時にどのように行動すべきかなどの有益な情報が掲載されている。この他にも、派遣団サイトのなかでのテント間の距離も記載されている。いくつかの項目については２０１０年６月に行われた派遣団長会議から更新されているので最新版に目を通してもらいたい。

登録と支払い

ジャンボリーへ通常登録費で支払いできる期限は２０１１年１月３１日であった。まだ登録することは可能だが、２０１１年１月３１日以降の支払いについては５％の追加費用が加算されてしまう可能性がある。まだ支払いを済ませていない派遣団は速やかに支払いを済ませるようお願いしたい。

Account name: Svenska Scoutradet
Account holder's address:
Box 42034
SE-126 12 Stockholm
Sweden

IBAN: SE10 8000 0831 3950 4325 0512
SWIFT/BIC: SWEDSESS
Bank name: Swedbank
City: Stockholm
Country: Sweden

全ての派遣団には、支払いに際して以下の点に注意していただきたい。

・ 各送金について、スカウト連盟名と、送金の内訳（例えば「１００名分の予納金」など）が含まれていなければならない

・　送金ごとに、送金日、どこの銀行から送ったか、支払いの内訳、送金金額を含め、ジャンボリーオフィスに連絡すること
・　各国連盟からの送金について登録されるのは、送金時・入金時の銀行手数料などを抜いた正味金額となる
・　すべての支払いはＳＥＫ（スウェーデン・クローネ）で行うこと

世界スカウトジャンボリーの返金規約

２０１１年4月３０日まで（３ヶ月前）：
登録人数の５％減少分までの控除を認める。

２０１１年5月１日以降：
返金は行わない。

例えば、１００人分の登録と支払いを２０１０年2月２３日までに済ませ、２０１１年4月１５日に派遣団の数が８５人になると通知した場合は、１５人ではなく５人の支払いにのみ控除を与える。人数の減少による金額の変更は、その先の支払いに対する控除金という形で相殺する。ただし全ての支払いが完了している場合は返金する。

締切り

ジャンボリー開催前と開催期間中にベストなサポートを受けるために、いくつかの項目について情報を提供していただきたい。以下のリストは計画に含めるべき締切りである。
４月　１日：派遣レセプション申請書の提出期限
４月３０日：輸送とパスポートの情報についてジャンボリー登録システムに登録
５月　１日：派遣団ゲストのジャンボリー登録システムへの登録
　　特別ゲスト推薦書の提出期限
５月３１日：文化フェスティバルの日で使用する食材の注文期限
６月２６日：ジャーナリスト登録用紙の提出期限

これらの申請書については派遣団エクストラネットで入手できる。

７月２５日：ＩＳＴメンバー到着日
７月２７日：参加者の到着日
８月　７日：参加者の出発日
８月　８日：ＩＳＴメンバーの出発日

ジャンボリーオフィスの新しい電話番号

スウェーデンスカウト連盟に新しいジャンボリーオフィスへの直通電話が開設された。
＋46-8-555-06565
また、スカイプのアカウントも取得しているので、その場合は下記のメールアドレスで検索してほしい。
info@worldscoutjamboree.se

ジャンボリーへようこそ！

このブリテンを読んでいる時に気づいたかもしれないが、第２２回世界スカウトジャンボリーの参加者は当初の見込みの３０，０００人ではなく、３８，０００人の参加者を予定している。登録が進むに連れて我々はとても高い関心が寄せられていることに気づき、今回新しい参加予定人数を伝えること、そしてこの夏スウェーデンでこれらの若者を迎えることに大きな興奮を覚えている。
こうしている間にも多くの国から集まった１,０００人以上のボランティアから構成させるプラニングチームはスカウトたちがすばらしいジャンボリーを体験できるように尽力している。さらに、何千人もの派遣団本部員と参加隊指導者たちがスカウトの準備を進めている。世界中でジャンボリーに向けた準備が行われ、それらが数ヶ月先にはリンカビィの地で集大成を迎えることを考えると感慨深いものがある。
何年も前ジャンボリーに向けた計画を練り始めたころ、我々には実行したいひとつのアイデアがあった。イベントが近づくに連れて、これらのアイデアはあなた方にシンプリースカウティングの経験をしてもらう目的とともにより具体的なものに変わっていった。

あなたたちに会えることをとても楽しみにしている！

マリー・トールバーグ　委員長
ラッセ・カールソン　　副委員長
ゴラン・ヘゲールダル　２２ＷＳＪ事務局長

Twitter and Facebook

www.worldscoutjamboree.se/twitter
www.worldscoutjamboree.se/facebook